戦時中の生活（１）

①徴兵検査



徴兵は、大日本帝国憲法〈1889（明治 22）年制定〉に定められた国民の義務のひとつで、20 歳以上の男子が対象でした。この写真が撮影された 1941（昭和 16）年に太平洋戦争（当時は大東亜戦争と呼んでいた）が始まりました。撮影場所は不明ですが、徴兵検査が行われた集会所か学校であろうと思われます。

②出征見送り



出征兵士と見送る人たちの記念写真です。鳥居が見えるので、この神社で武運長久を祈った後に出征していったのかもしれません。

戦時中に陸軍省が発行した召集を通知する令状（「臨時召集令状」および「充員召集令状」）は、赤い用紙だったことから俗に「赤紙」と呼ばれました。（青や白の令状もあったそうです。）

③岩屋寺梵鐘（ぼんしょう）の供出



昭和 17（1942）年　岩屋寺で撮影されたもの

日中戦争から太平洋戦争にかけて、戦局の激化と物資（武器生産に必要な金属資源）の不足を補うため、官民所有の金属類回収を行う目的で昭和 16 年に「金属類回収令」が公布されました。さらに、昭和 17 年には金属の「強制譲渡命令」が公布されました。

梵鐘には「応召（召集に応じる）」と書かれた紙が貼られています。